

梅窓院通信

十夜号

No.55
2011/10/01

青山

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成

暑い夏も終わり、はや十夜を迎える頃となりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

最初にお知らせです。祖父中島真孝が僧侶になったお寺、埼玉県北葛飾郡杉戸の倉常寺の法灯を、梅窓院でお手伝いいただいている瀧沢孝彦上人に継いでもらいました。法灯を継ぐとはわかりやすく言えば住職になることで、宗教法人倉常寺の代表役員になるということです。これで、私は兼務住職を退任し、梅窓院だけの住職となりました。ここにご報告させていただきます。

さて、今夏は旧盆のあとにマルタ島へ行く機会がありました。イタリア半島の南、シチリア島の近くにある共和国です。宗教戦争中に、マルタ騎士団が慈善団体として国を護ったという歴史もあります。

五つの島からなり、大きな島でも端から端まで車で一時間半ぐらいの小さな島国ですが、マルタ騎士団の築いた要塞都市は世界遺産となり、歴史にその名を刻んでいます。宗教という一つの文化がもたらす大きな力を感じる旅となりました。

十夜では出産育児明けの大島花子さんのコンサートを楽しんでもらいます。梅窓院では三年ぶりのステージ、ママになった花子さんに注目です。

イベントでは間近となった落合さんの文化講演会、そしてサントリーホールでのM・ファン・デン・フックさんのピアノリサイタルと、東日本大震災の復興祈念チャリティイベントが続きます。こちらにもお運びいただければ、と切にお願い申し上げます。

十夜法要 芋煮会

十一月十九日(土)

十夜法要

午後四時～
本堂

法話

法要終了後～
本堂

講師 瀧沢 孝彦 上人



平成22年度、十夜法話の様子。

お十夜とは、何か

酷暑の夏も過ぎ、天高く青く澄み渡る秋も深まりお十夜の季節となりました。

かつて「お十夜」は、陰暦(月に基づいた暦)十月五日の夜から十五日の朝までの念仏法要でした。法蔵菩薩が悟りを開いて、阿弥陀仏になった日とも言われています。念仏の修行をすることによって、阿弥陀様の浄土、極楽に往生することを願う法会のことを指します。法会が十日十夜にわたって行われることから「お十夜」(正しくは、十日十夜 別時念仏会)と言いました。その後、七日七夜、三日三夜、一日一夜に行われる場合も多くなりました。

浄土宗の根本経典である浄土三部経の一つ『無量寿経』には、「この世で十日十夜善いことをすれば、仏国土で千年善いことをしたことに勝る」とあります。

この行事の歴史は、白河天皇(平安時代)の頃とされていますが、恒例となったのは、室町時代に京都の真如堂(真正極楽寺/天台宗)において行なわれたのが最初と言われています。また、土御門天皇(鎌倉時代)の勅命により鎌倉光明寺(神奈川県鎌倉市材木座)で、お十夜が行なわれたことから、全国の浄土宗寺院にも広まりました。

月影や外は十夜の人通り(正岡子規)

まずは、梅窓院のお十夜念仏の日の「一日一善」から心掛けて、やがては、悪を止めて善を修めるという「止悪修善」、「生積善」の念仏人生を目指して、私たちの日々の生活と精神のよりどころを定めたいものです。

(法務 関崎)

芋煮会

法話終了後

境内・観音堂エントランス

十夜法要にご参列頂いた方に芋煮のふるまいをさせて頂きます。なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮いただいております。



熱々の芋煮でお腹も心も満たされます。



今年は大島花子さんの
特別ライブを開催します!

Hanako Ohshima Special LIVE



プロフィール

大島花子(ミュージシャン)

坂本九、柏木由紀子の長女として生まれる。

2003年メジャーデビュー。

2009年長男出産後は親子で楽しめるライブも好評。

2011年4月には、被災地の妊産婦支援の楽曲「Lumiere」をリリース。癒しの歌声のライブは毎回多くの観客を魅了する。

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要では「塔婆」と「短冊」のご回向が選べます。それぞれ申込方法・料金が異なりますのでご注意ください。

また、ご回向は「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

塔婆回向 一霊 7,000円

短冊回向 一霊 3,000円

●お申込方法

塔婆 同封葉書にご記入の上、11月10日必着でお申込下さい。

短冊 同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、当山受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払は出来ません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

お詫び

『青山』No.54秋彼岸号でお知らせ致しました「銘々皿」につきまして、「お檀家様にお配りさせていただきました」とありますが、今年の梅窓院の「法然上人八百年遠忌法要」当日に来寺され、法要に列席されたお檀家様にのみお配りしたものです。前号の記事で誤解を与えてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。ご理解・ご了承頂けますようお願い申し上げます。

梅窓院よりお知らせ ～墓苑に緑が増えました～

中央道に新しく植えました杉の木は、京都の北山杉の白杉という種類です。実がほとんど成らない種類で、花粉の心配もないのだそうです。梅窓院でもお手入れをしていますので、花粉の季節にも安心してお墓参りできます。



活動報告

郡上市・港区中学生体験研修 8月8日(月)

郡上市・港区の交流事業の一環として中学生の皆さんが梅窓院へいらっしゃいました。青山家のお墓参りもされました。



発行／梅窓院
発行日／平成23年10月1日
発行人／中島 真成
編集／青山文化村
住所／〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38

電話／03-3404-8447
F A X／03-3404-8446
ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail／jodo@baisouin.or.jp
題字／中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

行事予定

M・ファン・デン・ブック ピアノリサイタル

11月25日(金)
開場 午後6時
開演 午後6時30分
会場 サントリーホール
(ブルーローズ)



チケット絶賛発売中!!
檀信徒特別料金がありますので、下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】青山文化村 03(3404)8588

十夜法要

11月19日(土)
法要 午後4時～
特別ライブ
芋煮会



※芋煮会だけのご参加はご遠慮
いただいております。